

令和2年度

福知山市教育委員会

点検・評価報告書

(令和元年度施策・事業対象)

令和3年2月

福知山市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	令和元年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言	2
3	市教育行政の全体像	3
4	令和元年度の取り組み状況	4
5	教育委員会議、協議会の開催状況	1 2
6	教育委員会議での審議状況	1 2
7	教育委員会議以外の活動	1 7
8	教育委員会議の評価	1 8
9	施策の取組状況評価	1 9
	(1) 点検・評価の対象	1 9
	(2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法	1 9
	(3) 評価委員による評価	1 9
	(4) 評価総括表（委員の主な意見）	2 0
10	おわりに	3 4
11	資 料	
	(1) 教育委員会組織機構図	3 5
	(2) 教育委員会事務分担表	3 6
	(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	3 7

1 はじめに

福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の事務事業を「未来創造福知山」に示す施策について、点検・評価を実施し、本報告書を作成しました。

これは、これからの教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているものです。

この点検・評価結果を教育行政の効果的推進に向けて、教育行政全般において各々の事業がもつ位置づけや目的、事業のあり方などを意識しながら、今後の教育行政の推進に適切に反映させていきたいと考えております。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕(平成20年4月1日施行)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和元年度福知山市教育委員会委員

教育長	端野学	
委員	倉橋徳彦	(教育長職務代理者)
委員	大槻豊子	
委員	塩見佳扶子	
委員	和田大顕	

2 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言

- ・教育委員会の事業は、単年度での評価は難しい。数年にわたっての地道な活動が必要である。
- ・教員の資質を高めるために、先んじた研修の機会の環境整備が必要である。
- ・長寿命化計画により、箱物の維持管理をし、単年度でなく、ある程度のスパンをもって、計画的な維持管理が必要である。
- ・施設の維持管理は、市長部局も交えて横断的に管理する必要がある。
- ・市民の関心度を図りながら改善し、事業の効果を高める必要がある。
- ・事務事業評価の目的・指摘が、人材育成につながるように、もっと大きな枠組みの評価が必要である。統計データ等の数字を使い、具体的説明や分析をされたい。
- ・事業の担当者が、事業説明をするとともに、可能な限り次年度への課題解決に繋がるようにしてほしい。
- ・必要性、効率性、有効性のみでなく、重要な施策については人づくりのための目標を加味しての評価が必要である。
- ・教育施設等長寿命化の計画があり、安堵した。今後とも生活様式の変化等にも対応した施設の維持管理をされたい。

3 市教育行政の全体像

憲法と教育基本法の理念に基づき、多様性あふれる高次機能都市の実現に向けて、社会変化に対応できる調和のとれた、心豊かな人づくりを目指しています。

そのためには、未来を担う子どもたちが目標を持ち、自ら学び自ら考え、夢に向かってたくましく生きていくためのよりよい環境を最優先に考えて整備し、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の増進などの「生きる力」の育成と生涯学習の積極的な推進を目標に、学校教育と社会教育が緊密な連携を進め、家庭・地域社会・学校の実態に即して、中長期的な展望に立った特色ある教育活動により、「教育のまち福知山」を創造していかねばなりません。

【教育のまち福知山】

「教育のまち福知山」という言葉は、昭和 50 年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれた。この運動は、家庭、地域社会がそれぞれの役割・責任を自覚し、互いに高まりあおうとする心がこだましあって教育を尊ぶ気風のあるまちの創出をめざしたもので、「響育(共育)運動」といえるものであった。今もその精神は生きており、教育によって学んだことを、自分の幸せや夢の実現のため(自己実現)に活かすだけでなく、人のため(他者貢献)に、社会のため(社会貢献)に活かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てようとする気風があるまちが「教育のまち福知山」である。

福知山市教育の基本方針

～人と文化・スポーツを育むまちづくり～

福知山市の教育がめざす教育の方向

福知山市の教育がめざす方向は、知性を磨き、特性を涵養し、心身ともに健全な自立した人間の育成、併せて人々の幸福と社会の発展に寄与する行動力を兼ね備え、新しい時代を切り開く人材の育成にあります。

福知山市の教育目標

自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成
(自己実現) (他者貢献) (社会貢献)

【福知山市の教育目標】

この目標は、福知山市の「こだま教育運動」の精神や、「教育基本法第 1 条及び第 2 条第 3 項」並びに、福知山市の「市民憲章」を受けて定めたものである。

4 令和元年度の取り組み状況

○児童生徒の学力

平成31年度京都府学力診断テスト（小4・概要）

実施日：平成31年4月10日（水）～15日（月）

対象者：市内19小学校 4年生676人

受検科目：小学校 国語・算数

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：児童・生徒の学力を把握・分析し、指導上の課題を明らかにするとともに、学校における個に応じたきめ細かな指導の工夫や改善の充実に活用し、学力の充実・向上を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要：国語・算数ともに、府平均を上回っており、各領域ともに学力が概ね定着している。国語・算数共に活用の問題に課題が見られる。多様な情報から必要なことを選び出したり、比較してまとめたり、答えを出した経過を説明したりする場面設定が増えているので、基礎的な問題も総合的な思考が求められている。国語においては、話の要点を聞いたり、意見の共通点や相違点を整理したりする力に課題が見られた。算数では、「数量関係」に課題が見られた。低学年時からの学力課題がその後の学力形成に影響があることを踏まえ、指導内容を明確にした授業の展開と意図的計画的な学習活動の充実とともに、家庭と連携した取組を一層推進する。

平成31年度京都府学力診断テスト（中1・概要）

実施日：平成31年4月10日（水）～15日（月）

対象者：市内9中学校 1年生620人

受検科目：中学校 国語・数学

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：児童・生徒の学力を把握・分析し、指導上の課題を明らかにするとともに、学校における個に応じたきめ細かな指導の工夫や改善の充実に活用し、学力の充実・向上を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要：国語・数学ともに、府平均を下回っている。ただ、昨年度課題がみられた「基礎・基本」の定着において改善が見られる。解答するだけでなく説明する設問等が増え、日常的な授業の工夫が求められる。国

語においては「読むこと」に課題が見られる。内容を理解することより、どう読めばよいかを指導していくことが大切である。数学においては、「数量関係」「数と計算」「図形」に課題が見られ、『数学的な考え方』『技能』の観点に課題がある。基礎・基本の習得、定着に課題はあるが、2～3段階思考になると課題が顕著になる。

中1診断テストを活用し、中学校ブロックの各小学校と連携した結果分析により課題を明らかにして、課題の共有と学びの連続性を重視した一貫・連携教育をさらに推進し、義務教育の出口を見通した指導の充実に努める。

令和元年度京都府学力診断テスト（中2・概要）

実施日：令和元年10月23日（水）

対象者：市内9中学校 2年生650人

受検科目：中学校 国語・数学・英語

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：児童・生徒の学力を把握・分析し、指導上の課題を明らかにするとともに、学校における個に応じたきめ細かな指導の工夫や改善の充実に活用し、学力の充実・向上を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要：国語・数学・英語とも、府平均を下回っている。小学校から中学校への円滑な移行とともに中学校での確かな学びを図る必要がある。国語では、「俯瞰的な読み」「内容把握の力」「経緯の説明力」「条件に合わせ、書きまとめる力」「資料を読み、自身の感想、考えをもつ力」や、自分の考えと共通点や相違点を整理しながら聞き取ることに課題がある。数学では、具体的な場面と関連付けながら、見通しをもったり見積もったりする等予想（イメージ）することが求められる。英語では、情報量が増えるほど正答率は下がる傾向があるので、特定部分だけでなく、情報を組み合わせたり概要を捉えて読み取らせたりするような課題設定が必要である。今後とも、保幼小中一貫・連携教育の一層の充実と校種間の連携が進展するように努めたい。

平成31年度全国学力・学習状況調査（概要）

実施日：平成31年4月18日（木）

対象者：市内19小学校 6年生685人

市内9中学校 3年生640人

受検科目：小学校 国語・算数

中学校 国語・数学・英語

実施主体：文部科学省

実施目的：義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要：小学校6年生においては、国語・算数ともに、全国平均を上回っていた。

中学校3年生においては、数学は全国平均を上回ったが、国語・英語については、下回っていた。

3年に1度実施される英語については、自分の意見を基に文章を書く問題は課題が見られた。

今年度の全国学力・学習状況調査は、次年度から新学習指導要領が小学校で全面実施されることを受け、知識と活用力を一体的に捉える問題構成となっている。「自分の考えを明確にし、まとめて書く指導の工夫」・「問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実」「英語で話すこと・書くことの言語活動の充実」などについて、指導の改善を求めている。小・中いずれも複数の情報を関連付けて理解する力があるかどうかをみる問題が目立っていた。

中学校における授業改善の取組が進展する中であって、課題を整理し児童生徒の学びの連続性を重視した小中一貫・連携教育の一層の推進に努めたい。

以上が、令和元年度に行われた学力診断テスト及び全国学力・学習状況調査の概要である。この結果を踏まえ、次年度からの新学習指導要領の趣旨を生かした児童生徒の学力向上の一層の充実を図っていくことが重要である。新たに作成した『福知山市シームレス学園構想具現化構想』における「福知山授業スタンダード」を活用し、付けたい力を明確にした「めあて」から「振り返り」までの小中一貫した学びのスタイルを共有して、小学校から積み上げていく必要がある。

福知山市では、教育委員会としても、学力の現状や現場のニーズを踏まえ、教育施策や教育施設等の教育環境の改善・充実を図り、事業等の成果指標に基づいた取組を進め、質の高い学力の充実・向上のために引き続き積極的な支援をしていきたい。

○いじめの状況

令和元年度中に実施した3回のいじめ調査（京都府2回、市独自1回）では、本市立小・中学校でいじめを認知した件数が、小学校で1,816件（前年-44件）、中学校で158件（前年+30件）であった。生命に関わる、また一定期間

(年間30日間を目安とされている)学校の欠席を余儀なくされるような重大事案はなかった。認知したいじめについては、学級担任等から個別に聞き取りをするなど、些細ないじめも重大ないじめに発展する可能性があるという認識のもと、個々の事案への対応をていねいに行っている。

人間関係のトラブルに起因して登校しにくい様子が見られる等、重大事案につながる可能性のある事案については学校と教育委員会が連携して指導、支援を行い、解決に導いた。

学校では、「未然防止、早期発見、迅速な対応、継続した見守り」をいじめ防止の基本としながら、いじめ調査のみならず、定期的を実施する生活アンケートや教職員による児童生徒の面談(悩み相談)を実施するなど、日頃から児童生徒や保護者の思いに寄り添いながら、継続的・日常的に把握に努めている。

いじめをはじめ、自殺、児童虐待等子どもに関する問題が社会化していることを受けて、本市では教育委員会とPTAが共催でネットいじめ防止を目的とした「いじめ防止講演会」を実施したり、親子で学ぶ「小学生親子授業 ネットトラブルストップ講座」を実施したりするなど、家庭や地域と連携したいじめ根絶の風土づくりに取り組んでいる。

各校におけるいじめ防止にかかる取組を継続的に実施するとともに、学校のみならず地域や保護者との共通理解のもと、連携した取組を今後とも続けていく。

○不登校の状況

不登校の児童生徒数は、国や京都府の状況と同様に本市においても大きく増加した。学校としては、年間30日を越える長期欠席者の内、よりていねいに不登校としてとらえ、未然防止(新たな不登校を生まない取組)や、個別指導の体制を整えること、また、関係機関と連携して個々に応じた支援ができるように取り組んでいる。

不登校総合対策事業である「心の居場所づくり推進事業」において、不登校の児童生徒が通う適応指導教室「けやき広場」では、不登校児童生徒の個々に応じた自立支援や学校復帰に向けた取組を実施しており、令和元年度も通級していた中学3年生全員が希望進路を果たしている。

教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする複雑・困難なケースが増えているなか、臨床心理士を中心に適切な支援を行っている。

不登校の未然防止・早期発見のため配置されている訪問指導員は、家から出にくい児童宅を訪問したり、教育相談に応じるなど家庭生活の基盤づくりへの支援を行った。また、スクールカウンセラーや心の居場所サポーター等と連携し、家庭と児童生徒、学校とをつなぎ、児童生徒の心の安定や教室復帰に寄与している。

本市の不登校児童生徒数・出現率の推移

	小 学 校	中 学 校
平成29年度	31人（出現率 0.72%）	51人（出現率 2.50%）
平成30年度	40人（出現率 0.94%）	61人（出現率 3.02%）
令和元年度	52人（出現率 1.25%）	87人（出現率 4.32%）

【参考】

不登校とは

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、またはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）と文部科学省は定義している。

また、文部科学省の通知において、不登校児童生徒の支援に対する基本的な考え方として「学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある」としている。

○主な事業

教育総務課

1 大江地域学校統合整備事業

地域、保護者、学校からなる大江地域学校統合準備委員会において、教育内容、校名、PTA活動などについて協議を進めた。

美河小学校、美鈴小学校、有仁小学校を統合した新たな小学校と大江中学校が一体となった施設一体型小中一貫教育を進めるため、大江中学校敷地内での校舎の増築工事や電気設備工事、バス乗降場ほか造成測量設計業務を行った。

2 六人部小学校統合整備事業

統合後の六人部小学校の児童増加による教室の不足見込みに対応するとともに、教室棟増築工事（給食配膳室、昇降口、普通教室2室）に先立ち、仮設の給食配膳室と昇降口の設置をした。

3 遷喬・佐賀小学校統合整備事業

令和2年4月の円滑な学校統合に向けて調整を行うとともに、児童が安全に通学するためのスクールバスの購入や佐賀小学校閉校に向けた取組を行った。

地域、保護者、学校からなる遷喬・佐賀小学校統合協議会が6月に設立し、教育内容、PTA活動などについて協議を進めた。

閉校記念誌を作成し校区に全戸配布し、閉校式、記念碑除幕式を行い、3月28日に佐賀小学校を閉校した。

4 昭和小学校施設増改築事業

昭和小学校北側敷地において、新しい家庭科室及び配膳室を整備するための設計業務を委託した。

5 小・中学校施設長寿命化計画策定事業

福知山市学校施設長寿命化計画を策定し、小中学校施設の長寿命化に向けた取組を行うため、業務委託を発注し、各小中学校の建物現状調査に取り組んだ。

6 小学校教室棟便所改修事業

教室棟を優先して便器の洋式化及び一部内装改修を行い、教育環境の改善を図った。

修斉小学校北校舎便所改修においては、平成31年3月末に工事が完了した。

また、来年度工事実施予定である庵我小学校においては、設計業務を委託した。

学校教育課

1 防災教育推進事業

学校における防災教育については従来から各学校単位で実施してきたが、福知山市の統一的な防災教育カリキュラムをもとに、具体的な災害を想定した実践的な防災訓練を実施した。

市内各学校の避難訓練や防災教育の実施状況等を確認し、全国の参考となる事例の収集を行うとともに、学校関係者や有識者による防災教育推進検討会を設置した。

2 プログラミング教育開発推進事業

学習指導要領の改訂により小学校プログラミング教育が令和2年度から始まる。これに先がけ、ロボット教材を活用したプログラミング教育を推進するため、教職員への研修、市内9中学校ブロック毎に選定した推進校での小学3年生、4年生への先行指導、市独自の指導計画の作成・検証を行った。

本年度は、小学3年生から6年生までの児童を対象にロボット教材を活用したプログラミング教育を実施した。

3 学力向上定着事業

小1プロブレムや中1ギャップと呼ばれる校種のつなぎ目における課題解決に向け、中学校ブロックでの保幼小中連携・一貫教育の取組を推進するとともに、家庭や地域・社会の協力を得て子どもの学びの環境整備に努めた。

保幼小中連携・一貫教育の取組を推進するため、中学校ブロック毎の課題に対応した「効果のある学校づくり」事業に計画的に取り組んだ。

また、学校における基礎学力定着の取組、学習や生活環境に課題のある児童生徒への家庭訪問、小学校の補習学習に学習サポーターとして福知山公立大学生による学習支援に取り組んだ。

生涯学習課

1 地域で支える「地域未来塾」開講事業

様々な理由により、家庭での学習が困難なことなどから、学習習慣が充分に身につけていない中学生への学習を支援し、教員OB・OGや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施した。

市立中学校全9校で、地域支援コーディネーターを中心に、地域や学校等と連携しながら「地域未来塾」を開講した。

2 放課後児童クラブ運営事業

保護者等が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休業日に安心して遊び生活できる場を提供するとともに健全な育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援した。

市内17か所で実施し、全小学校の全学年を対象に児童を受け入れ、見守りを実施した。長期休業期間利用を含めた登録児童数は、1,638人であった。

学校給食センター

1 学校給食管理運営事業

給食を生きた教材として活用するため給食情報を発信するとともに、施設見学や保護者を交えた講座や試食会を行った。10月に福知山市出身の杉本敬三シェフの講演会を実施し、シェフ考案の給食メニューを提供した。11月には修斉小学校1年生を対象に「大根ひき体験」を実施し、収穫した大根を使った給食を実施した。

2 学校給食センター統合事業

大江学校給食センター施設の統廃合を進めるため、福知山市学校給食センターの施設機能の増強を図るため、「蒸気ボイラー改修他調理増強工事に伴う設計業務」を行い、浸水対策として、浸水防止用止水板設置工事、福知山市学校給食センター地下ピット排水設備設置工事を行った。

図書館

1 資料収集整理事業

地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため。地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入できた。購入した資料点数は、図書10,451点、DVD16点、CD10点、CD-ROM48点であった。

2 自動化書庫管理機等更新事業

図書館運営に使用している機器のOS保守について、2020年1月で終了することを受け、安定したシステム運用を図り、図書館運営が円滑に行える体制を整えるため、自動化書庫及び図書館システム用端末、関連機器の更新を行った。

文化・スポーツ振興課

1 文化財保全事業

貴重な文化財を後世に伝えるため11件の文化財所有者と協議を重ね、必要な保全や修理を行うことができた。

2 日本の鬼の交流博物館運営事業

本市の地域資源である鬼をテーマにした資料を展示した鬼文化の拠点施設として管理運営を行った。企画展4回、シンポジウム1回を行い、年間入館者数7,664人の来館があった。

3 市内遺跡発掘調査事業

川北地区ほ場整備事業に伴う上ヶ市遺跡の範囲内容確認調査を行った。調査の結果、中世の土器片や陶器片などが調査対象地内より出土し、遺跡がこれまでの範囲より南側に広がることが確認できた。

子ども政策室

1 子ども・子育て新制度施設型給付費事業

一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与するため、子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園及び認定こども園に通う園児のいる世帯に対して給付を行った。

2 幼稚園施設改修事業

安全かつ安心な状態を確保するため、園施設の修繕を行い、就学前教育を行う上で必要な施設機能を確保した。

本年度は、福知山幼稚園玄関廊下照明改修工事を行った。

5 教育委員会議、協議会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

- (1) 教育委員会定例会 12回
- (2) 教育委員会臨時会 7回
- (3) 教育委員会協議会 12回

6 教育委員会議での審議状況

(1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「福知山市教育委員会基本規則」第7条に定める事務について、令和元年度は合計38件について審議しました。

- ① 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること . . . 6件
- ② 委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること . 4件
- ③ 教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について . . . 12件
- ④ 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 6件
- ⑤ 委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること 8件
- ⑥ 教育に係る表彰に関すること 1件
- ⑦ 教育委員会点検・評価に関すること 1件

令和元年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
4月23日	定例	議 1 号		福知山市指定文化財の指定について
			報 1	教育長決裁による後援承認事項について (No.1～No.9)
5月23日	定例	議 2 号		福知山市立図書館協議会委員の任命について
		議 3 号		福知山市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 4 号		令和元年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について
			報 2	教育長決裁による後援承認事項について (No.10～No.16)
6月27日	定例	議 5 号		福知山市立公民館運営審議会委員の委嘱について
			報 3	教育長決裁による後援承認事項について (No.17～No.26)
			報 4	福知山市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
7月24日	定例	議 6 号		福知山市文化財保護審議会委員の委嘱について
			報 5	教育長決裁による後援承認事項について (No.27～No.32)
8月6日	臨時	議 7 号		令和2年度以降使用小学校教科用図書の採択について
		議 8 号		令和2年度使用中学校教科用図書（特別の教科道徳を除く）の採択について
8月22日	定例	議 9 号		令和元年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について
		議 10 号		福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
		議 11 号		福知山市子ども・子育て支援法の規定に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例について
		議 12 号		福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例について
		議 13 号		工事請負契約の締結について
		議 14 号		専決処分の承認について
			専決 1 号	損害賠償について
		議 15 号		令和2年度福知山市立幼稚園の入園募集について
			報 6	教育長決裁による後援承認事項について (No.33～No.37)
			報 7	働き方改革に係る取り組みについて
	報 8	平成31年度全国学力・学習状況調査結果の概要について		
9月25日	定例	議 16 号		令和元年度教育委員会表彰について
			報 9	教育長決裁による後援承認事項について (No.38～No.45)
			報 10	働き方改革に係る取り組みについて
			報 11	いじめ調査の結果について
			報 12	杉本敬三シェフ考案学校給食メニューの実施について
			報 13	管理職候補者の受験面接について
10月8日	臨時	議 17 号		福知山市立中学校教員の処分内申について
10月24日	定例		報 14	教育長決裁による後援承認事項について (No.46～No.50)
11月13日	臨時	議 18 号		令和2年度福知山市立学校教職員人事異動方針の策定について

令和元年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
11月21日	定例	議 19 号		福知山市立学校設置条例の一部改正について
			報 15	教育長決裁による後援承認事項について (No.51~No.60)
			報 16	令和元年度 福知山市立図書館蔵書点検の実施について
			報 17	福知山市立図書館利用者アンケートの調査結果(単純集計)について
		報 18	福知山・丹波・朝来 3市図書館連携について	
12月2日	臨時		報 19	教育長の再任について
12月26日	定例	議 20 号		統合小学校の校名について
		議 21 号		職員の異動発令について
			報 20	教育長決裁による後援承認事項について (No.61~No.68)
			報 21	社会教育委員会からの提言について
			報 22	令和2年福知山市成人式について
		報 23	令和2年度福知山市立幼稚園の入園募集結果について	
1月30日	定例	議 22 号		令和2年度学校教育の重点について
		議 23 号		令和2年度社会教育の重点について
			報 24	教育長決裁による後援承認事項について (No.69)
2月20日	定例	議 24 号		教育委員会事務点検評価について
		議 25 号		福知山市立小学校及び中学校通学区域の指定に関する規則の一部を改正する規則について
		議 26 号		令和2年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について
		議 27 号		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例の制定について
		議 28 号		「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項の規定に基づく職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例」の制定に係る福知山市教育委員会の意見について
		議 29 号		物品の取得について
		議 30 号		令和2年度予算事業概要について
		議 31 号		福知山市立学校設置条例等の一部を改正する条例の制定について
		議 32 号		教育委員の辞職について
		報 25	教育長決裁による後援承認事項について (No.70~No.76)	
2月28日	臨時	議 33 号		教職員人事異動内申について
3月6日	臨時	議 34 号		教職員人事異動内申について
			報 26	新型コロナウイルス感染症の拡大防止にむけた市立小・中学校の卒業式等の開催に関する対応について
3月13日	臨時	議 35 号		教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の異動発令について
			報 27	新型コロナウイルス感染症の拡大防止にむけた市立小・中学校の状況について

令和元年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
3月23日	定例	議 36 号		福知山市立小学校及び中学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について（教育委員会規則）
		議 37 号		市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針の策定について
		議 38 号		福知山市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について（教育委員会規則）
			報 28	教育長決裁による後援承認事項について（No.77～No.78）
			報 29	福知山市教育支援委員会に関する要綱の一部改正について（教育委員会告示）
		報 30	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応について	

(2) 教育委員会協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、
案件一覧表のとおり令和元年度は合計31件について協議しました。

令和元年度 教育委員会協議会 案件一覧表

開催日	番号	件名
4月23日	1	教育長報告事項について
	2	学校統合について
	3	総合教育会議について
5月23日	4	教育長報告事項について
	5	総合教育会議について
6月27日	6	認定こども園への移行希望状況について
	7	教育長報告事項について
7月24日	8	教育長報告事項について
	9	福知山市立図書館中央館利用者アンケート実施について
8月22日	10	教育長報告事項について
9月25日	11	教育長報告事項について
	12	来年度の予算に向けての意見交換
10月24日	13	教育長報告事項について
	14	地域公民館のあり方について
11月21日	15	教育長報告事項について
	16	令和2年度予算編成方針について
	17	令和2年度学校教育の重点(案)について
	18	令和2年度社会教育の重点(案)について
12月26日	19	教育長報告事項について
	20	令和2年度学校教育の重点(案)について
	21	令和2年度社会教育の重点(案)について
	22	総合教育会議について
1月30日	23	教育長報告事項について
	24	令和2年度小中学校入学予定者数について
	25	教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針について
	26	教育委員会事務点検評価について
	27	総合教育会議について
2月20日	28	教育長報告事項について
	29	福知山市立学校教育内容充実推進プラン(試案)について
3月23日	30	教育長報告事項について
	31	福知山市立学校教育内容充実推進プラン(試案)について

7 教育委員会会議以外の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各 種 行 事 ・ 大 会 等	
	福 知 山 市 関 係	国 ・ 府 関 係
4月	新任校長着任式 市立幼稚園、小・中学校当初校（園）長会議	
5月		中丹地方教育委員会連絡協議会総会・委員研修会 第1回中丹地区教科用図書採択協議会
6月	第1回総合教育会議 「教育のまち福知山のさらなる発展」	
7月	青少年健全育成大会 市立幼稚園、小・中学校第2回校（園）長会議	第2回中丹地区教科用図書採択協議会 第3回中丹地区教科用図書採択協議会
8月	学校教育振興会 教育講演会	
9月	指導主事学校園訪問参加	
10月	杉本敬三シェフ考案学校給食メニュー実施	
11月	福知山市立学校音楽祭 教育委員会表彰	令和元年度中丹地方教育委員会連絡協議会教育研修視察 第63回京都府学校保健研究大会
12月	市立幼稚園、小・中学校第3回校（園）長会議	
1月	令和2年福知山市成人式	
2月	第2回総合教育会議 「新しい時代を生きる子どもたちに必要な力をつける教育へ」 市立幼稚園、小・中学校第4回校（園）長会議	
3月	市立小・中学校卒業式 天津小学校・金谷小学校・佐賀小学校開校式	

8 教育委員会議の評価（成果と課題）

【成 果】

- 1 事務局から事前に資料提供を受け、各教育委員ともに十分に内容把握の上、会議に出席し検討を行った。また、会議では、活発な意見交換があり、議案等の審議においても事務局からの説明に対して必要な指摘や質問を行った。
- 2 緊急に報告すべき案件について、適宜適切に報告を行い、教育委員会と事務局との一層の連携が図れた。特に重要な事案については迅速に臨時の教育委員会を召集し対応した。
- 3 教育委員会のホームページに教育委員会議の会議録を掲載することにより、情報発信ができた。会議の討論内容を公開することで、市民に広く周知する機会をつくることができた。
- 4 これからの福知山市の教育について、総合教育会議で市長と協議・調整することで連携することができた。
- 5 指導主事の学校訪問に教育委員も積極的に参加し、学校経営の様子や児童生徒の様子を確認することができた。

【課 題】

- 1 市民に開かれた教育委員会議となるように、教育委員会の取組を迅速に広報することにより、さらに市民の関心や理解を深めたい。
- 2 研究大会や研修会に参加した成果を相互に情報共有し、共通理解とすることで、充実した会議につなげる。
- 3 教育委員会制度に関する改革（総合教育会議の設置）により、さらに市長部局との連携を深め、本市教育についての具現化を図る。

9 施策の取組状況評価

(1) 点検・評価の対象

本市の事務事業評価書から教育委員会（補助執行含む）が行った全事業

(2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法

事務事業評価内の「担当課による自己評価」欄の項目「必要性」「効率性」「有効性」の○△×の3段階評価を点数化（○3点・△2点・×1点）し、また、合計点を3段階（9点は3点、5点～8点は2点、4点以下は1点）で評価し「未来創造福知山」の施策毎で平均値を算出し教育委員会の評価としました。

○施策の評価基準（平均値）

- 3.0 ・ ・ 計画以上の成果が得られた。 A評価
- 1.6 以上～3.0 未満 ・ ・ 計画どおり目標は達成できた。 B評価
- 1.6 未満 ・ ・ 課題があり、改善を要する。 C評価

(3) 評価委員による評価

評価に関しては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、教育委員会から主な事業の説明を行い、自己評価を基に評価委員から客観的にA・B・C「+、-」で評価をしていただきました。

教育委員会事務 点検評価委員（敬称略）

氏 名	所 属 等
秦 正 音	元人権擁護委員
片 山 蓉 子	元小学校長
江 上 直 樹	福知山公立大学助教

点検・評価会議開催期日

令和2年12月23日

令和2年12月24日

評価総括表

政策	施策の大綱	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
2	1. 生涯学習の推進	1-1.生涯学習を充実させる	2.8	B	・問題なく実施されている。	B
		1-2.図書館活動を充実させる	2.8	B	・図書館活動は成果指標の利用者数は、目標に達していないが、広報・読み聞かせの取組等の努力がされている。 ・専門知識を活用したスタッフの充実をさらに図られたい。(専門性を踏まえた人員配置が必要である。)	B+
		1-3.生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする	2.8	B	・長寿命化計画を導入して、中長期的に施設の管理を行うことが必要である。 ・市総体で施設管理を進められたい。	B
	2. 青少年の健全育成	2-1.健全育成体制を充実させる	3.0	A	・各事業、地域一丸となって青少年健全育成を目的とした事業施策であり、成果が出ていると思われる。 ・昨年度課題があった事業について、改善がなされている。	A
		2-2.健全育成活動を促進させる	3.0	A	・地域で支える「地域未来塾」の支援員や指導員の人材募集の課題がある。 ・学習面以外の幅広い指導ができる人材を確保するなど改善すべきで点がある。 ・協力者への過度の負担がかからないようにする必要がある。	A-
	3. 学校教育の充実	3-1.確かな学力を育てる	2.9	B	・計画どおり、実施されている。 ・教職員資質向上事業において、自主的に研修等ができるような条件整備が必要である。	B
		3-2.心身ともに健やかな子どもを育成する	3.0	A	・事業については、ほぼ計画どおり実施されている。 ・不登校の数も増えている状況もあり、減少に向かうように努力が必要である。 ・組織的な連携を図った取組みが必要である。	B+
		3-3.一人ひとりを大切に特別支援教育を推進する	3.0	A	・学校と保護者の情報共有について、円滑に行われるようお願いをしたい。	A-

評価総括表

政策	施策の大綱	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
2	3. 学校教育の充実	3-5.就学前教育を充実させる	2.8	B	・各事業とも必要な事業であり、適切に実施されている。	B
		3-6.教育環境を整備・充実させる	2.9	B	・長期的な観点から、学校施設の維持管理に努められたい。	A-
	4. 高等学校との連携	4-1.高等学校による人材教育を支援する	3.0	A	・事業は目的どおり行われている。	A
	6. 文化財の保護・保存	6-1.文化財を適切に保護・保存する	2.6	B	・事業は目的どおり行われている。	B
		6-2.文化財の保護意識を高める	3.0	A	・文化財の保護意識を高めるため、今後も継続して頂きたい。	A
	5	3. 子育て支援の充実	3-1.子どもの心豊かな育ちを支える環境をつくる	3.0	A	・放課後児童クラブ運営・整備事業は全国的に課題となっており、保護者にとって大切な事業である。 ・児童クラブと学校との連携、指導員の研修等改善点が多く見られる。
4. 障害のある人の福祉の充実		4-2.自立と社会参加を促進する	2.0	B	・教育委員会として、自らが進んで社会参加できる学習と交流の場を提供する障害者講座は目的通り行われている。	B

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
1	生涯学習課	2	1. 生涯学習の推進	1-1.生涯学習を充実させる	地区公民館育成事業	3	3	3	9	2.8	B	B
2	生涯学習課				社会教育委員会議運営事業	3	3	3	9			
3	生涯学習課				婦人教育事業	3	3	3	9			
4	生涯学習課				PTA連絡協議会共催事業	3	3	3	9			
5	生涯学習課				生涯学習一般管理事業	3	3	3	9			
6	生涯学習課				和久市公園管理事業	3	3	2	8			
7	中央公民館				中央公民館及び地域公民館事業	3	3	3	9			
8	図書館			1-2.図書館活動を充実させる	資料収集整理事業	3	3	3	9	2.8	B	B+
9	図書館				中央館運営事業	3	3	3	9			
10	図書館				三和分館運営事業	3	3	3	9			
11	図書館				夜久野分館運営事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
12	図書館	2	1. 生涯学習の推進	1-2. 図書館活動を充実させる	大江分館運営事業	3	3	3	9	2.8	(B)	(B+)
13	図書館				佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業	3	2	3	8			
14	図書館				自動化書庫管理機等更新事業	3	3	3	9			
15	生涯学習課			1-3. 生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする	旧三岳山の家管理事業	2	3	3	8	2.8	B	B
16	生涯学習課				旧勤労青少年ホーム施設管理事業	2	3	2	7			
17	生涯学習課				夜久野町生涯学習センター事業	3	3	3	9			
18	生涯学習課				教育文化会館管理運営事業	3	3	2	8			
19	生涯学習課				夜久野町生涯学習センター改修事業	3	3	3	9			
20	中央公民館				中央公民館一般管理事業	3	3	3	9			
21	中央公民館				川口地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
22	中央公民館				日新地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
23	中央公民館	2	1. 生涯学習の推進	1-3.生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする	北陵地域公民館一般管理事業	3	3	3	9	(2.8)	(B)	(B)
24	中央公民館				六人部地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
25	中央公民館				成和地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
26	中央公民館				桃映地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
27	中央公民館				三和地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
28	中央公民館				夜久野地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
29	中央公民館				大江町総合会館運営事業	3	3	3	9			
30	中央公民館				地域公民館等施設改修事業	3	3	3	9			
31	中央公民館				大江地域公民館一般管理事業	3	3	3	9			
32	中央公民館				市民交流プラザふくちやま管理運営事業	3	3	3	9			
33	中央公民館				北陵地域公民館整理事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価					
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価						
34	中央公民館	2	1. 生涯学習の推進	1-3.生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする	市民交流プラザふくちやま図書館天井改修事業	3	3	3	9	(2.8)	(B)	(B)					
35	生涯学習課				2. 青少年の健全育成	2-1.健全育成体制を充実させる	少年補導センター運営事業	3	3				3	9	3.0	A	A
36	生涯学習課		平成こだま教育推進事業	3			3	3	9								
37	生涯学習課		青少年健全育成事業	3			3	3	9								
38	生涯学習課		成人式事業	3			3	3	9								
39	生涯学習課		2-2.健全育成活動を促進させる	地域で支える「地域未来塾」開講事業			3	3	3	9	3.0	A	A-				
40	学校教育課		3. 学校教育の充実	3-1.確かな学力を育てる			学校芸術祭事業	3	3	3	9	2.9	B	B			
41	学校教育課						小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	3	3	3	9						
42	学校教育課						中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	3	3	3	9						
43	学校教育課				教職員資質向上事業	3	3	3	9								
44	学校教育課	学校運営事業			3	3	3	9									

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
45	学校教育課	2	3. 学校教育の充実	3-1.確かな学力を育てる	教育研究事業	3	3	3	9	(2.9)	(B)	(B)
46	学校教育課				学力向上定着事業	3	3	3	9			
47	学校教育課				KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業	3	3	3	9			
48	学校教育課				プログラミング教育開発推進事業	3	3	3	9			
49	学校教育課				事務局一般管理事業(学校教育課)	3	3	3	9			
50	学校教育課				AET配置活用事業	3	3	3	9			
51	学校教育課				学校図書館機能充実事業	3	3	3	9			
52	学校教育課				指定校研究事業	3	3	3	9			
53	学校教育課				学齢簿システム整備事業	3	3	3	9			
54	学校教育課				中丹地区教科用図書採択協議会負担金	3	3	3	9			
55	学校教育課				防災教育推進事業	3	3	2	8			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
56	学校教育課	2	3. 学校教育の充実	3-2.心身ともに健やかな子どもを育成する	社会人コーチ派遣事業	3	3	3	9	3.0	A	B+
57	学校教育課				体育・文化振興事業	3	3	3	9			
58	学校教育課				日本スポーツ振興センター共済(小学校)	3	3	3	9			
59	学校教育課				中学校生徒教職員健康管理事業	3	3	3	9			
60	学校教育課				健康管理事業	3	3	3	9			
61	学校教育課				学校保健事業	3	3	3	9			
62	学校教育課				子ども安全対策事業	3	3	3	9			
63	学校教育課				労働安全衛生管理体制整備事業	3	3	3	9			
64	学校教育課				心の居場所づくり推進事業	3	3	3	9			
65	学校教育課				小学校児童教職員健康管理事業	3	3	3	9			
66	学校教育課				日本スポーツ振興センター災害共済負担金(中学校)	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
67	学校教育課	2	3. 学校教育の充実	3-2.心身ともに健やかな子どもを育成する	中学校自転車通学安全対策事業	3	3	3	9	(3.0)	(A)	(B+)
68	学校教育課				スクールサポーター配置事業	3	3	3	9			
69	学校教育課				いじめ根絶対策事業	3	3	3	9			
70	学校教育課				中学校安全管理事業	3	3	3	9			
71	学校教育課				小学校安全管理事業	3	3	3	9			
72	子ども政策室				幼稚園児教職員健康管理事業	3	3	3	9			
73	給食センター				学校給食管理運営事業	3	3	3	9			
74	給食センター			学校給食センター統合事業	3	3	3	9				
75	学校教育課			3-3.一人ひとりを大切に した特別支援教育を推 進する	就学指導事業	3	3	3	9	3.0	A	A-
76	学校教育課				特別支援教育推進事業	3	3	3	9			
77	子ども政策室	3-5.就学前教育を充実 させる	幼稚園入園支度金支給事業	3	2	2	7	2.8	B	B		

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
78	子ども政策室	2	3. 学校教育の充実	3-5.就学前教育を充実させる	幼稚園一般管理事業	3	3	3	9	(2.8)	(B)	(B)
79	子ども政策室				私立幼稚園就園奨励費補助事業	3	3	3	9			
80	子ども政策室				子ども・子育て新制度施設型給付費事業	3	3	3	9			
81	子ども政策室				私立幼稚園多子世帯保育料軽減事業	3	3	3	9			
82	教育総務課			3-6.教育環境を整備・充実させる	事務局一般管理事業(教育総務課)	3	3	3	9	2.9	B	A-
83	教育総務課				私立高等学校補助事業	1	3	1	5			
84	教育総務課				小学校一般管理事業	3	3	3	9			
85	教育総務課				小学校スクールバス管理運行事業	3	3	3	9			
86	教育総務課				小学校校舎等営繕事業	3	3	3	9			
87	教育総務課				小学校教師用教科書・指導書購入事業	3	3	3	9			
88	教育総務課	中学校一般管理事業	3		3	3	9					

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
89	教育総務課	2	3. 学校教育の充実	3-6.教育環境を整備・充実させる	中学校スクールバス管理運行事業	3	3	3	9	(2.9)	(B)	(A-)
90	教育総務課				中学校校舎等営繕事業	3	3	3	9			
91	教育総務課				中学校教師用教科書・指導書購入事業	3	3	3	9			
92	教育総務課				中学校施設改修事業	3	3	3	9			
93	教育総務課				小学校施設改修事業	3	3	3	9			
94	教育総務課				小学校施設用地整理事業	3	3	3	9			
95	教育総務課				教育委員会運営事業	3	3	3	9			
96	教育総務課				小学校理科教育設備等整備事業	3	3	3	9			
97	教育総務課				小学校学校図書整備事業	3	3	3	9			
98	教育総務課				中学校学校図書整備事業	3	3	3	9			
99	教育総務課				小学校ICT環境整備事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
100	教育総務課	2	3. 学校教育の充実	3-6.教育環境を整備・充実させる	福知山市教育情報化整備事業(小学校)	3	3	3	9	(2.9)	(B)	(A-)
101	教育総務課				福知山市教育情報化整備事業(中学校)	3	3	3	9			
102	教育総務課				中学校ICT環境整備事業	3	3	3	9			
103	教育総務課				学校情報機器保守管理事業	3	3	3	9			
104	教育総務課				中学校配膳員配置事業	3	3	3	9			
105	教育総務課				小学校教室棟便所改修事業	3	3	3	9			
106	教育総務課				大江地域学校統合整備事業	3	3	3	9			
107	教育総務課				小学校屋外遊具管理事業	3	3	3	9			
108	教育総務課				六人部小学校統合整備事業	3	3	3	9			
109	教育総務課				小学校施設長寿命化計画策定事業	3	3	3	9			
110	教育総務課				中学校施設長寿命化計画策定事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
111	教育総務課	2	3. 学校教育の充実	3-6.教育環境を整備・充実させる	地域イントラネット民営化関連事業(小学校)	3	3	3	9	(2.9)	(B)	(A-)
112	教育総務課				地域イントラネット民営化関連事業(中学校)	3	3	3	9			
113	教育総務課				修斉・天津小学校統合整備事業	3	3	3	9			
114	教育総務課				昭和小学校施設増改築事業	3	3	3	9			
115	教育総務課				遷喬・佐賀小学校統合整備事業	3	3	3	9			
116	教育総務課				上川口・金谷小学校統合整備事業	3	3	3	9			
117	教育総務課				(仮称)三和学園整備事業	3	3	3	9			
118	教育総務課				公立学校施設災害復旧事業	3	3	3	9			
119	学校教育課				全国小学校家庭科教育研究会全国大会準備	3	3	3	9			
120	子ども政策室				幼稚園施設改修事業	3	3	3	9			
121	子ども政策室				幼稚園屋外遊具管理事業	3	3	3	9			

評価表

番号	課名	政策	施策の大綱	施策	名称	事務事業評価内の評価点				重点項目総合		最終評価
						必要性	効率性	有効性	合計点	平均値	評価	
122	学校教育課	2	4. 高等学校との連携	4-1.高等学校による人材教育を支援する	高等学校等入学支度金支給事業	3	3	3	9	3.0	A	A
123	文化・スポーツ振興課		6. 文化財の保護・保存	6-1.文化財を適切に保護・保存する	文化財保全事業	3	3	3	9	2.6	B	B
124	文化・スポーツ振興課				文化財整理事業	3	2	3	8			
125	文化・スポーツ振興課				市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)	3	3	3	9			
126	文化・スポーツ振興課			6-2.文化財の保護意識を高める	夜久野町化石・郷土資料館運営事業	3	3	3	9	3.0	A	A
127	文化・スポーツ振興課				日本の鬼の交流博物館運営事業	3	3	3	9			
128	文化・スポーツ振興課				文化財資料移転事業	3	3	3	9			
129	生涯学習課		5	3. 子育て支援の充実	3-1.子どもの心豊かな育ちを支える環境をつくる	放課後児童クラブ運営事業	3	3	3	9	3.0	A
130	生涯学習課	放課後児童クラブ整備事業				3	3	3	9			
131	生涯学習課	4. 障害のある人の福祉の充実		4-2.自立と社会参加を促進する	障害者講座事業	3	3	2	8	2.0	B	B

10 おわりに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づく、福知山市教育委員会が行った教育に関する事務の点検・評価につきましては、点検評価委員3名からの幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「未来創造福知山」の施策毎に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施しました。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月には市立幼稚園・小中学校の臨時休業や社会教育施設の休館など、例年になく対応を講じて各事業を実施しました。

評価方法については、昨年と同様に本市の「事務事業評価シート」を活用し、各事務事業の「必要性」「効率性」「有効性」の評価を点数化し、施策毎に平均化して事務の評価としています。

さらに、点検評価委員の評価が反映できるように、点検評価会議での議論による意見を最終評価とすることとしました。

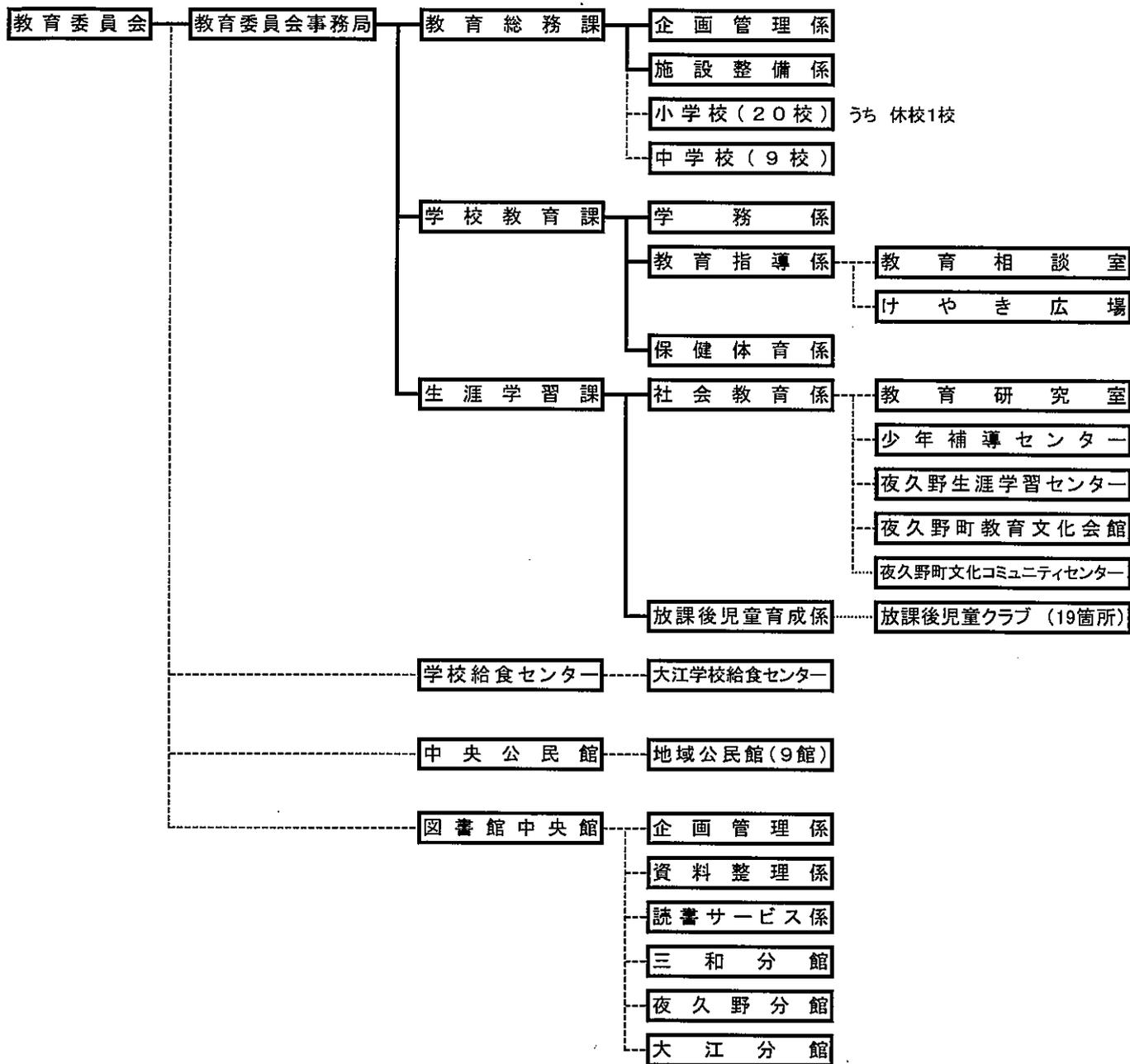
なお、点検評価会議での意見を踏まえ、各事務事業の具体的な目標設定を図り、更に分かりやすい点検・評価報告となるように努めてまいります。

この教育委員会教育事務に関する「点検・評価」については、その結果を議会に報告し公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図るものとして、地教行法に義務づけられています。福知山市教育委員会といたしましても、毎年の事務事業の結果を点検・評価したうえで、その改善策を検討し、これを実行に移すという、PDCAサイクルの過程を公表していくことは、教育委員会の果たすべき役割とその意義を広く市民の皆様にご覧いただき絶好の機会であると捉えています。

今後もこの「点検・評価」により、自己の業務を振り返り更なる改善に努めるとともに、市民の皆様に対してより一層わかりやすく丁寧な説明を心がけ、市民の皆様とともに歩む教育行政の推進に取り組んでまいります。

11 資料

(1) 教育委員会組織機構図 (令和元年度)



(2) 教育委員会事務分担表（令和元年度）

<p>教育総務課</p>	<p>委員会の議事及び秘書に関すること。 儀式及び表彰に関すること。 条例、規則等の制定、改廃等法制に関すること。 市費負担職員（幼稚園を除く。以下同じ。）の人事、給与及び服務に関すること。 学校（幼稚園を除く。以下同じ。）の設置、廃止及び認可に関すること。 学校施設（幼稚園を除く。以下同じ。）の整備に関すること。 学校の教材、教具及び設備に関すること。 委員会の重要施策の総合調整及び統括に関すること。 委員会の予算の調整及び執行管理に関すること。 委員会の職員の研修及び能力開発に関すること。 委員会の主管事務に係る法制に関すること。 委員会の所管に係る財産管理の総括に関すること。 委員会の広報及び広聴に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 他課の主管に属しないこと。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>府費負担教職員の人事、給与及び服務に関すること。 教職員の研修及び健康管理に関すること。 教職員の組織する職員団体に関すること。 学校教育の指導に関すること。 児童生徒の就学、その他学事に関すること。 高校生、大学生等の就学奨励及び修学奨励に関すること。 学校給食並びに学校保健体育及び安全に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 その他学校教育に関すること。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>生涯学習に関すること。 成人教育、青少年教育及び婦人教育に関すること。 社会教育施設の整備に関すること。 少年補導センターに関すること。 放課後児童クラブに関すること。 ユネスコ活動に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 その他社会教育に関すること。</p>
<p>学校給食センター</p>	<p>学校給食センターの管理運営に関すること。 給食数の把握及び調理食数の指示に関すること。 給食用食材料費の支出事務及び給食費会計決算事務に関すること。</p>
<p>中央公民館</p>	<p>公民館の管理運営に関すること。 公民館の育成に関すること。 公民館講座に関すること。</p>
<p>図書館中央館</p>	<p>図書館の管理運営に関すること。 図書資料の選定・管理に関すること。 移動図書館の運行管理に関すること。</p>

(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成23年3月30日
教育委員会告示第2号

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、福知山市教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し、必要な事項を定め、もって効果的教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属するもので、前年度に実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法並びに結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者（以下「点検評価委員」という。）から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人以内とし、委員会が委嘱するものとする。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告)

第5条 委員会は点検及び評価にかかる結果を市議会に報告し、かつ、公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成、事務事業の改善等に活用するものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務課において処理するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月1日から施行する。

この告示は、令和元年9月4日から施行する。

令和2年度（令和元年度対象）
福知山市教育委員会点検・評価報告書
発行 令和3年2月
編集 福知山市教育委員会

〒620-8501

京都府福知山市字内記13番地の1

TEL 0773-22-6111（代表）

FAX 0773-24-4880